

# こんにちは 森林官です!

網走西部森林管理署  
丸瀬布森林事務所  
首席森林官 太田 康弘



前列中央が本人

## 森林事務所概要

丸瀬布森林事務所は、オホーツク総合振興局管内中部に位置する遠軽町丸瀬布にあり、管理面積は金山担当区4,485.65ha、丸瀬布担当区5,418.42ha、武利担当区15,278.57ha、合計25,184.64haにも及び広大な国有林を管理しています。

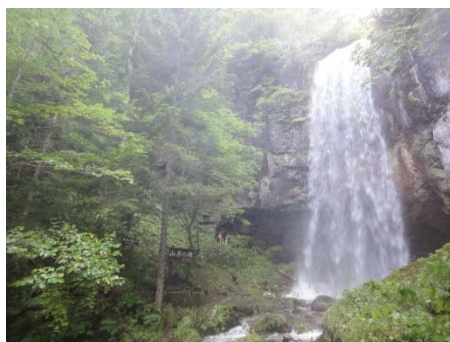
## 丸瀬布の観光資源

ここ丸瀬布町は、観光資源も豊富で「森林公園・いこいの森」には動態保存として北海道遺産や近代化産業遺産に指定された「森林鉄道蒸気機関車・雨宮21号」が4月から10月まで土・日・祝日限定で運行されておりです。(夏休み期間中は毎日)



森林鉄道蒸気機関車・雨宮21号

この広報に使うための写真撮影がてら乗ってみました。小さいながらもかなりの迫力でした。ぜひお近くにお越しの際には乗車してみてください。いこいの森にはこの他にもキャンプ場や温泉施設、タレントの哀川翔さんでおなじみの昆虫生態館など数多くの施設があります。



大迫力 山彦の滝

さらに丸瀬布町には道内では数少ない滝の裏側に回ることの出来る『山彦の滝』や大雪山の北東部にある標高1,876.2mを誇る雄峰『武利岳』が聳え立っています。この武利岳に向かう登山道は丸瀬布側と北見市留辺蘆町からの2箇所ありますが、丸瀬布側の道は4年前より通行止め、留辺蘆側も2年前の台

風により大規模林道が崩壊しており現在は登山が出来ない状況であり早期の復旧が待たれます。

## 森林での業務

当事務所では北海道森林管理局と連携して、『網走西部署管内におけるドイツトウヒコンテナ苗外の調査等について』の事業地として試験林を設置しました。

この事業は、これから迎える主伐期に備え、効率的な低コスト・省力化のための森林の再生に向け取り組むことを目的としています。



コンテナ苗の調査中

コンテナ苗の調査は育苗期間が短く、初期成長が早いドイツトウヒに着目し、ドイツトウヒ、クリーンフーチ、ト

ドマツの裸苗とコンテナ苗をそれぞれのブロックに植栽し、今後はこれらの活着率・成長量を調査してドイツトウヒの特性を明らかにしていきます。さらにドマツの夏期の植栽を8月1日～15日の間に実施し、成長経過等の調査を行います。

## 最後に

4月1日に赴任してきて4ヶ月が経過しようとしております。当初は、全森林官が異動となり、業務引継書に書ききれないローカルルールに戸惑いましたが、職員一丸となって仕事を進めてきました。

また、丸瀬布は北大雪山系近くのためか山の傾斜が急で定年を間近に控えた老体にとっては厳しい労働環境ですが、二晩くらい徹夜してもへこたれない若い森林官、体力無尽蔵の係員の協力や、時には長年の経験で丸瀬布の隅の隅まで熟知している非常勤職員の助言の下、何とかこなしている状況です。

これからも、文字通りの職員一丸となって、広大な国有林の管理に努めていきます。